

玉造教会ニュース

2月号

発行：玉造教会 評議会

編集：玉造教会 広報委員会

# シャローム

〒540-0004

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL 06-6941-2332

FAX 06-6941-2605

2018年2月4日

423号

## いのちの扉を開く3つの鍵

シスター梶野芳子

『鍵があるとわたしたちは安心して 偉くなったと勘違いする  
ポケットに鍵があると感じるだけで 安心する  
歩く時がちゃがちゃという音を聞くだけで 気力を貰う  
人は何気なく 鍵を手でいじって動かすのが 好きだ  
ある人は 鍵をベルトにぶら下げて 立派に見えると思っている

自分の鍵を失くした人は 一瞬呆然とする  
まるで すべてを失ってしまったような印象を受けて 動揺する  
捜せば捜すほど 心配は大きくなる  
動転のあまり 行ったり来たりし あらゆる場所を 隈なく探し  
何も見つからないと苛立つ  
人生の流れは 止まってしまい 自分が誰であるかもわからなくなる

生命の扉を開くのに 神は私たちに 三つの鍵を委ねられた  
信仰と 希望と 愛  
たびたびそれを忘れるけれど 私たちはあまり悩まない  
不注意から、怠惰から 私たちはしょっちゅう 一つの鍵しか使わない  
疑いもなく それがマスターキーだと思っている

しかし神はこの三つの鍵がガチャガチャと音をたてるのを聞いたがられる  
天国への道を 信頼しきって 曇りなく前進するには  
この音は心に 熱意、喜び、必要な力を与える』

(ジェラルド グイノ著 三輪黎子訳『かばの詩』(有)岡印刷出版 2003年 40-41頁)

皆さんは、最初、教会に何を求めて来られましたか？人生の意味？生きる意義？しあわせを求めて来られた方もあるでしょう。教会はイエズスの愛と救いに出会った人々の集まりです。自分が救われるためだけではなく、神からの特別の使命、神の国の実現という使命も同時に受けているのです。

父なる神の愛、キリストの教えは聖霊においてだけ、人の心に現存するからです。この聖霊の導きに信頼しなければ、教会は単なる社会集団のひとつにすぎなくなってしまいます。

そうです。教会が宣教しなければ、もはや、教会ではありません。教えの伝達に限らず、生活

の証し、社会活動の参与、インカルチュレーション、諸宗教との対話なども宣教の視野に入ります。

教会が現代世界の中で、神の国の完成に向かって、旅する教会・キリストの神秘体への奉仕の姿を表していけるよう希望しています。玉造教会が、そして、わたしたち一人ひとりが、与えられた能力を生かし神から委ねられた三つの鍵で求め、捜し、叩きながら救いのしるし、恵みのしるしとなっていけますように。

(『カトリック教会の教え』カトリック中央協議会 147-148 頁参照)

---